

別記様式

		担当課	やさしさ支援課
会議の名称	令和5年度第1回鴻巣市男女共同参画審議会		
開催日	令和5年10月23日(月)		
開催時間	午前10時00分 開会 ・ 午前11時25分 閉会		
開催場所	鴻巣市役所 本庁舎4階大会議室		
議長(委員長・会長)氏名	会長 吉田 全利		
出席者(委員)氏名(出席者数)	吉田全利(会長)、明里玲子(副会長)、土橋純、高橋琴、手塚和子、吉田大樹、横田まゆみ、小池真奈美、石田麻紀、渡邊美紀(10名)		
欠席者(委員)氏名(欠席者数)	竹内茂雄(1名)		
事務局職員職氏名	やさしさ支援課長 小川裕子 やさしさ支援課副課長 樋口則子 やさしさ支援課副主査 三ヶ島直美(3名)		
傍聴の可否(傍聴者数)	可(0名)		
会議の内容	(議題) 1 こうのす男女共同参画プラン進行状況(令和4年度実績)について 2 その他		
	(決定事項など) 1 こうのす男女共同参画プラン進行状況調査(令和4年度実績)について、事務局より説明。事前に提出された質問事項を紹介し、該当する部分について説明。 ≪意見及び質疑応答≫ ○ 進行状況の評価について、数値だけでの評価は難しいのではないかと。 ・ 評価の基準が明確でなく、周知啓発の事業を実施したか、していないかだけで評価しているのか疑問である。どこに重点を置いているのかがわかりづらい。 ・ いわゆる行動評価と結果評価なのかと思うが、念頭に置くことが大切だと思うので、結果なのか評価なのかというところをあまり意識し過ぎるのはよくないのではないかと。 ・ 各課が実施している事業に対して、男女共同参画という考え方を基軸に置きながら、どのように行われているかということを自己評価することも必要だが、やはり評価が甘くなりがちである。審議会の場合などで第三者が評価することで少し緊張感が出てくると思う。目標値だけでとらえることは難しいので、客観化する必要もあるのではないかと。 → 少しでも意識をした取組であったかということの評価するのであれば、次回プラン策定時に評価の仕方を検討していきたいと思えます。		

<p>会議の内容</p>	<p>○ せっかく審議会をしているので、事務局だけでなく、各担当課の職員にも来てもらえれば、現場の意見を聞くことができるのでよいのではないかと。 → オブザーバーとしてこちらの審議会に出席してもらうことは可能かと思えます。必要があれば事務局から各担当課に依頼していきます。</p> <p>○ 市民への周知啓発的な事業があるときには、審議会委員に知らせてもらえるとよいと思う。事務局でメールアドレスを把握して連絡をもらうことは可能か。 また、会議資料もメールでもらえれば手間がかからないと思うがいかがか。 → 事業の案内については、メールで案内いたします。また、会議資料については枚数も多く、個々に印刷いただくのは負担になるため、郵送させていただきます。</p> <p>2 令和5年度の男女共同参画に係るやさしさ支援課の取組について説明。</p>
<p>配付資料</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和5年度第1回鴻巣市男女共同参画審議会 次第</li> <li>・ 令和5年度鴻巣市男女共同参画審議会 委員名簿</li> <li>・ こうのす男女共同参画プラン進行状況調査（令和4年度実績）</li> <li>・ こうのす男女共同参画プラン進行状況調査（令和4年度実績）質問事項</li> <li>・ 令和5年度男女共同参画に関する取組</li> <li>・ 男女共同参画情報誌ほほえみ第26号</li> <li>・ 令和5年度こうのす男女共同セミナー 案内</li> </ul>